

令和6年 第1回白馬村議会定例会 産業経済委員会審査報告

本定例会において、産業経済委員会に付託された案件は4件です。審査の概要と結果を報告します。

議案第15号 白馬村太陽光発電施設の設置管理等に関する条例の一部を改正する条例について

白馬村文化財保護条例の全部改正に伴い、白馬村太陽光発電施設の設置管理等に関する条例第5条第12号（禁止される区域）における引用先条項を、改正後の白馬村文化財保護条例の条項に置き換えるもの。

〔質疑・意見〕

問 議案第6号の総務社会委員会の審議結果は。

答 全員賛成により可決すべきものと決定された。

討論はなく採決したところ、議案第15号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第19号 令和5年度白馬村一般会計補正予算（第8号）所管事項

農政課関係

農業振興事業 180万1千円の減額は、農業振興事業160万1千円の減額と農業体験実習館のテニスコートの修繕費35万4千円の増額によるもの。

農林業費 農地費359万円は多面的機能支払交付金の事業確定による76万円減額。土地改良区負担金100万円の増額は、昨年12月の豪雨による平川頭首工土砂撤去に要する、白馬村土地改良区への負担金を交付するもの。圃場整備事業385万円の増額は、事業費確定によるもの。

現年発生農地農林施設災害復旧費 1070万円の減額は、9月豪雨災害復旧事業の災害査定終了に伴う事業費確定による304万円の減額と、同じく事業委託料の査定終了に伴う事業費確定による769万6千円の減額は事業費確定によるもの。

〔質疑・意見〕

問 12月の豪雨災害というのは黒豆沢の土砂災害のことか。

答 12月豪雨災害という表記は国の名称。黒豆沢の土砂災害と同日に発生した豪雨災害のこと。

問 環境保全型農業直接支払事業について、申請がされていないが来年度も予算が計上されている今後の考えは。

答 令和5年度も申請希望者がいたが、条件が合わず断念した経過がある。補助対象となる農地を村で定める必要があり、地域計画とも関連しているので課題が出てきた。令和6年度は申請できるような体制づくりを進めていきたい。

問 圃場整備事業の北城南部の現状は、また北城北部は問題があると聞くが進捗状況は。

答 北城南部地区は現在第3工区、4工区を行っている。第3工区は基盤が終わっていないので春からの作付けは全面出来ない。第4工区は水路工事が終わっていないことと、土不足が影響し一部作付けが出来ない状況で地権者には了承済み。

北城北部地区は令和7年度の事業採択の予定で進めていたが合意形成の関係で伸びている。現在地権者から仮同意を取り囲場の希望エリアが決まってきているので令和8年度の事業採択に向けて進めている。

問 高収益作物の作付は前向きに検討しているのか。

答 担い手や実行委員と、何が白馬村にあった作物なのかを調査研究をしながら行っている。第2工区で白ネギの作付けを行ったところ成功したという事例があるので今後も研究を進めていきたい。

建設課関係

土木総務費 41万6千円の減額は白馬駅前の県単事業負担金の事業費確定による減額などが主なもの。道路新設改良費 606万3千円の減額は、村道改良国庫補助事業、道路改良起債事業、村道改良単独事業それぞれ、国庫補助事業の事業費が確定したもの、なお村道改良国庫補助事業は1163万9千円、道路改良起債事業は866万2千円を繰り越すもの。河川総務費 239万5千円の減額は、姫川の県単河畦林整備事業完了の事業費確定の減額が主なもの。

住宅費 45万円の減額は、克雪住宅普及促進事業の補助金確定による事業費の減額、現年発生公共土木施設災害復旧費 2263万1千円の減額は、公共土木施設の災害復旧事業の査定完了により事業費が決定したことによるもの。

〔質疑・意見〕

問 土地の売り払い収入はどこの土地か。

答 売り払い収入は当初予算には計上しておらず、すべて年度途中で発生した。基本的なものは国土調査が進むにつれて、地図上既にある水路や赤線など法定外公共物について、村で払い下げのルールを作っている。隣接している土地の所有者が払い下げを希望する場合は、その時の固定資産税評価額をもとに払い下げる。件数は5件。

観光課関係

観光商工費国庫補助金の減額は、八方池山荘の先導的官民連携支援業務の2次申請での採択による731万1千円の減額。

観光宣伝振興費 22万9千円の増額は、21観光戦略事業の翻訳業務委託料で観光地観光防災マニュアルの翻訳業務委託によるもの。

〔質疑・意見〕

問 翻訳された観光防災マニュアルの配布方法や多言語化の為のHP機能はどの様になるのか。

答 英訳したものは、外国人の宿泊施設や飲食店、観光事業者に配布し、大町保健所等へは考えていない。HPだとPDFで出るが、HPに直接書き込むとPC上で翻訳できる。あくまでGoogle翻訳だが、現在4か国語程度対応している。

問 八方池山荘の官民連携事業について、補助が減額になり、足りない部分を一般財源で出している。補助金をもらわないとできない事業だと思うが、今回２次で通ったが、今後満額や、余計に削られる可能性というのはあるのか。

答 今回はかなり応募が多く、道の駅の整備などに１次審査で採択されるところもあった。来年度以降に関しては当初予算に計上している状況なので、これ以上一般財源が増える可能性は一応ない。逆に予算計上しているが、補助金として取れるものはなんとか取っていけるように努力する。

上下水道課関係

環境衛生費 226万9千円減額は、環境衛生事業の工事請負費110万円の増額と合併処理浄化槽整備事業補助金336万9千円減額によるものです。

〔質疑・意見〕

問 村内で大型の計画がされているところは、上下水道が通っているところか。

答 浄化槽を整備するような計画はない。どの計画も下水道への排出を予定している。

全体を通しての討論はなく、採決したところ議案第19号委員会所管事項は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第22号 令和5年度白馬村水道事業会計補正予算（第4号）

収益的収入に334万8千円を増額し3億2千697万2千円、収益的支出に447万6千円を減額し2億9千176万6千円、予算第4条本文括弧書「不足する額1億9千925万7千円」を「不足する額1億9千96万9千円」に改め資本的支出の予定額を914万円減額し3億3万1千円とするものです。

収益的収入では、加入分担金の増額と有価証券利息額確定による増額。収益的支出では、一般職員の時間外勤務手当等の減額や法定福利費の減額などによるものです。

資本的収入においては、物件移転補償費の額確定による工事負担金増額や起債対象工事額確定による企業債の減額によるもの。資本的支出では配水管布設工事費の減額やメーター材料費等の減額が主なものです。

〔質疑・意見〕

無し

討論はなく、採決したところ議案第22号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

議案第23号 令和5年度白馬村下水道事業会計補正予算（第4号）

収益的支出に2千1万1千円増額し4億7千766万5千円とするもの

内容は減価償却費の不足による増額です。

〔質疑・意見〕無し

討論はなく、採決したところ議案第23号は、委員長を除く委員全員の賛成により可決すべきものと決定いたしました。

以上、産業経済委員会の報告とします。